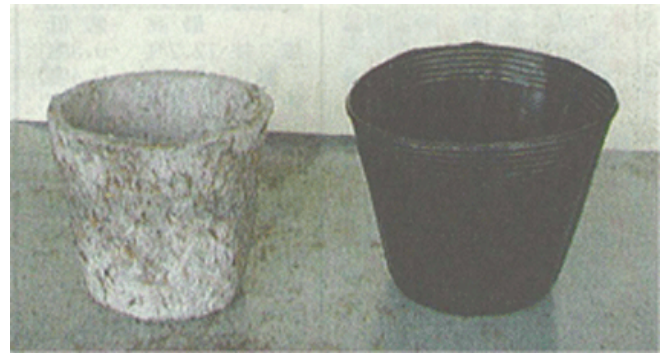


クリーンポット製造技術の開発

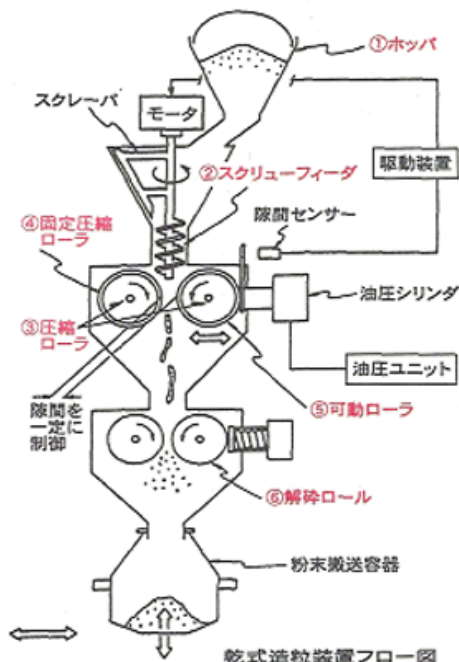
1)使用された技術

「乾式造粒装置」(特許登録第1931379号)の技術は、原子炉の燃料ペレットを成型する前に原料のウランやプルトニウムを押し固めて、同じ大きさに整える装置です。この処理を施すことで、焼き固めを行う次の工程で原料が隙間無く容器に詰まり、密度の高いペレットが成型できるようになります。



クリーンポット(左)(開発中)と市販のビニルポット(右)

2)適用された事例(福井市:(株)ダイトウ興業殿)



乾式造粒装置の構造図

従来のビニルポットに代わり、肥料三要素のほか、ミネラルが豊富に含まれる植換え不要な花や野菜の苗用ポットを製造する技術を開発しました。原料に、同社がオリジナルで開発した乾燥、脱臭、殺菌技術処理を加えた後、上記特許技術を応用して一定の粒度にし、効率よくポット化します。

これにより、市場のビニルポットより安価で、苗を入れた状態で土に植えると肥料になり、ミミズの繁殖やゴミの減容化にもつながる苗用ポットの製造が可能となりました。